

日頃の教育に対する工夫、及び今後の教育への抱負

物質・生命化学科 吉見 泰治

学科の3年生の皆さんとは、2年生後期での有機化学 III の授業および3年生前期の学生実験 2 回分だけでしか接する機会がなかったのですが、今回、少ない関わりの中で選んでいただき感謝いたします。また、今年度から退職される先生の代わりに1年生後期に教える授業（有機化学 I）も受けもっています。このように有機化学 I および有機化学 III を受け持つことになったため、我々学科の有機化学分野に対する教育に大きな責任を持つことになりました。1年生後期から始まる有機化学の授業に、どうしてもついて来れない学生達が一定数おり、有機化学 I からよくわからないとの話を聞いていました。それが有機化学 III になってしまうと、施しようがない状態になってしまいます。化学系において有機化学を理解することは大きな柱になっていると思いますので、難しいことですが、これらの学生達に対して有機化学の魅力を伝え、学生の学習意欲を促し、苦手意識がつかないようにしていきます。新しい授業を持つことは大きな負担になりますが、私の有機化学 I の授業を受けた学生達が、有機化学 III の時にどのようなになっているかを見ることも楽しみにしています。学科の学生達が有機化学への興味を増やせるように、授業および学生実験に取り組んでいきたいと考えています。